

まちのわだい

美しい川をいつまでも

第14回「秋津川大掃除＆花いっぱい」活動



草刈りやごみ拾いをする参加者たち

4月29日、昭和の日に、本年も秋津川一帯で「秋津川大掃除＆花いっぱい」活動が行われ、1,500人以上のボランティアが集まり、清掃活動や花植えに汗を流しました。この活動は毎年、地域づくりボランティア益城まちおこし塾（園川 茂塾長）の呼びかけで行われているもので、今回で14回目を迎えます。



花壇に花を植える中学生

払ったり、ごみ袋を持って土手のごみ拾いや、川の中に入って空き缶やビン、板切れなどを一つ一つ回収していただきました。また、花壇にはたくさんの花々の苗が植えられました。作業でひと汗かいた後は、秋津川河川公園東屋付近で、参加者全員に貝汁とおにぎりがふるまわれ、楽しいお昼のひと時を過ごしました。美しい川を未来に残すことは大切な財産であり、私たち町民一人ひとりの義務でもあります。ふるさとの美しい川の流れる風景をいつまでも守りたいものです。

でっかいスイカの贈り物

とおやまこうきち
馬水の遠山幸吉さんから益城幼稚園に

「うわ、でっか〜い!!」。4月30日、馬水の遠山幸吉さんから町立益城幼稚園に、重さ20kgの特大スイカが贈られました。

スイカの品種は「春のだんらん」。遠山さんによると、3年ほど前からこの品種を栽培していて、通常だとせいぜい5〜6kgとのこと。ところが、今年は1本だけ変わった葉の形をしている苗を発見、そのまま交配したら、たちまち特大サイズに育ったということでした。

園児たちは、横にならべられた普通サイズのスイカと見比べながら、珍しそうにふれていました。



特大のスイカにふれる園児たち

夏も近づく 八十八夜

つ
津森小児童が茶摘み体験

5月7日、津森小学校の3年生児童が茶摘みを体験しました。

とみざわかずゆき
空港近くにある富澤一行さん（上小谷）所有の畑に集まった子どもたちは、摘み方を教わった後、さっそく茶摘み。片手にかごを持ち、柔らかい新芽を一本一本ていねいに摘み取っていました。かごがいっぱいになると大きな袋に集められ、最終的には10kgを超える収穫となりました。

この日収穫した新茶は、さっそく工場加工、製茶作業を経て、子どもたちに配られるとのことでした。



茶摘みを楽しむ子どもたち